

西明石駅周辺の活性化

JR西日本との協定に基づき

市は駅前広場とアクセス道路を整備

問 西明石活性化に向けた取り組みの進捗よく状況について問う。

答 本市とJR西日本は、協定を締結し、西明石駅および駅周辺のバリアフリー化、市民サービスや市民交流機能の向上など、快適なまちづくりを連携して進めることとしている。

JR西日本は、六甲

道橋については、令和5年12月の完成を目指し、24人乗りの大型エレベーターを併設したものにしている。

市民サービス

バター工場跡地に新たな改札口と駅ビルを建設し、市は、駅前広場と幅16メートルのアクセス道路を整備するとともに、南畑踏切の歩道橋化などを実施する予定だ。

現在、市はアクセス道路周辺の地権者へ計画概要の個別説明を行っている。南畑横断歩

現時点で市としての方向性を示すことは難しいが、選択肢の一つとして、庁内での検討を始めている。



新たな改札口と駅ビルを建設

の活性化につながる取り組みについても土地の権利関係の調整を進めながら課題を整理しているところだ。

県からの明石公園の移管 市民の理解は得られるのか 知事との協議も必要

問 明石公園は、本市の象徴であり、市民の憩いの場であるが、県立の公園であるため、敷地内にある県立図書館の移転や樹木の伐採等に関して、本市は何もできない。公園の施設整備に市民の意向を反映させるためには、県に市立化の

要望をすべきではないか。市の見解を問う。



明石公園は市民の憩いの場

答 明石公園は、1991年の開設から県が管理運営を行っている。他市の事例では、城のある歴史公園の9割が市立の公園であり、本市としては、市が管理運営する方が自然と考える。しかし、市立化する場合には、相当の財政負担も伴うため、市民の理解が得られるかどうかが必要となる。

問 国民健康保険料の均等割は、所得のない子どもを含め家族が増えると負担が増える仕組みである。令和4年4月から未就学児の保険料の均等割を5割軽減する国の制度が始まるが、子育て支援に力を入れていく本市として、軽減の対象を高校生まで拡充できないか。

答 本市が独自に国民健康保険料の均等割の軽減対象を高校生まで拡充するためには、二つの課題がある。一つ目は、国民健康保険の加入者の減少により保険料収入が減少する一方、1人当たりの医療費の増加などにより国民健康保険事業の収支が実質赤字であること。二つ目は、財政運営の責任主体が都道府県に移

国民健康保険料の均等割

4月から未就学児は5割軽減 高校生まで拡充できないか

高校生まで拡充できないか

国民健康保険料の均等割は、所得のない子どもを含め家族が増えると負担が増える仕組みである。令和4年4月から未就学児の保険料の均等割を5割軽減する国の制度が始まるが、子育て支援に力を入れていく本市として、軽減の対象を高校生まで拡充できないか。

をかけた方向で動いている印象がある。いざいざにしても、市と県の関係は大変重要であることから、早急に兵庫県のトップである知事と協議し、明石公園の課題について整理を始めた。

守秘義務違反ではないか 市内企業の課税額を 市長がツイッターに投稿

問

市長が発信する私的なツイッターに市内企業の課税額が投稿された。地方税法第22条では、市長を含む徴税吏員に守秘義務を課しているが、この投稿はこれに違反しないのか。他の企業から、市長の考えに沿わない場合、税情報を全世界に公開されてしまうのかという不安の声もある。今回の税情報の資料は、誰の指示、何の目的で行ったことにより市の権限や役割が変わり、市の裁量で対応できる状況にないことである。

作成されたのか。また、企業の許可を得ているのか。市長に問う。

答 税情報に関する資料の作成は、市長である私が指示を出した。当該企業が有名な大企業であるにもかかわらず、法人税割の支払いがない状況が続いており、その事実確認をするためである。当該企業とは、これまで意見交換の経緯もあり、市長として透明性の確保や、工場緑地の在り方を考える際に、影響力のある企業の本市に対する貢献度を伝えることは、公益性が高いと判断し投稿したが、当該企業の許可は得ていない。

今回の件は、法律に違反しないと考えているが、税情報は慎重に取り扱うべきであり、投稿は削除した。以後、気を付けたい。



子どもの保険料の軽減を

国民健康保険料の均等割は、所得のない子どもを含め家族が増えると負担が増える仕組みである。令和4年4月から未就学児の保険料の均等割を5割軽減する国の制度が始まるが、子育て支援に力を入れていく本市として、軽減の対象を高校生まで拡充できないか。

子どもに係る保険料等の負担軽減について制度を拡充するよう、国に要望していきたい。

令和3年 明石市議会の会期および議決事項件数

区分	開会日	閉会日	会期日数	市長提出議案											議員・委員会提出議案			
				条例	予算	決算	契約	人事	その他	計	修正動議				提出数	可決数		
											可決数	修正数	否決数	その他				
1月臨時会	1/18	1/19	2	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
第1回定例会 3月議会	2/19	3/24	131	17	22	-	1	2	4	46	46	-	-	-	-	-	2	2
第1回定例会 4月議会	4/20	4/21		-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
第1回定例会 5月議会	5/14	5/14		-	-	-	-	2	-	2	2	-	-	-	-	-	1	1
第1回定例会 6月議会	6/7	6/29		4	3	-	3	1	8	19	18	1	-	-	-	-	1	1
8月臨時会	8/11	8/12	2	-	1*	-	-	-	-	1*	-	-	-	-	-	-	-	
第2回定例会 9月議会	9/7	10/13	106	7	2	12	1	4	2	28	23	-	4	1**	1	-	-	
第2回定例会 12月議会	11/29	12/21		4	6	-	-	-	1	11	11	-	-	-	1	-	2	2
計			241	32	36	12	5	9	15	109	102	1	4	1	2	0	6	6

*1 8月12日市長専決処分により審査不要となる。 *2 一時不再議に該当するため、本会議には上程せず。

議員ふもやま話

ロシアによるウクライナ侵攻という信じ難いニュースが、世界を震撼させました。どんな理由があろうとも武力行使は容認できません。明石市議会においても、全会一致で抗議声明を議決しました。

社会性は、幼い頃から他者との関わりの中で培われます。私たちは子どもに対し「意に反する相手には武器を持つてあらがってよい」とは教えません。主張し、時には折り合いをつけながらも相手への思いやりを学んでほしい。子に寄せる親の思いは、たとえ国が違っても同じだと信じます。

世の中は多様性に溢れています。多様な人々による、相互理解への絶え間ない努力によって平和は保たれることを、いま一度私たちは心に刻まなければなりません。